



FWE-XTRIC8

**FERNO®**  
**XTRIC8**  
RESCUE SLED



EN  
NL

FR  
NO

DE  
SE

IT  
DK

ES  
FI

QRコードをスキャンして、このマニュアルの最新バージョンにアクセスしてくださいおよび翻訳版、または [ferno.com.au](http://ferno.com.au) 経由で。



XTRIC8 MANUALS

**FERNO®**

ユーザーマニュアル

文書 ID: 00570-V2 / 2023 年 5 月

## カスタマーサービス

注文に関するサポートや一般的な情報は、次のとおりです。

ファーノオーストラリア、11 Johnstone Road Brendale、クイーンズランド州 4500、オーストラリア

電話：	+61 7 3881 4999
ファ	+61 7 3881 1125
Eメール	info.au@ferno.com
ウェブ	www.ferno.com.au

## カナダとアメリカ

電話 (フリーダイヤル)	1.877.733.0911
電話：	1.937.382.1451
FAX (フリー)	1.888.388.1349
ファ	1.937.382.1191
ウェブ	www.ferno.com

## 欧州代表

ファーノ Srl	
電話：	+39 051 686 0028
ウェブ	www.ferno.it

## イギリス

ファーノ (英国) リミテッド	
電話：	+44 1274 851 999
ウェブ	www.ferno.com/uk

## 他のすべての場所

サポートや情報が必要な場合は、ファーノにお問い合わせください。

代理店がない場合は、ファーノオーストラリアまでお問い合わせください。



**XTRIC8**  
XTRIC8 MANUALS



ユーザーマニュアル

QR コードをスキャンして、このマニュアルの最新バージョンおよび翻訳版にアクセスするか、  
[www.ferno.com.au](http://www.ferno.com.au)

## 免責事項

本書には、使用方法に関する一般的な説明が含まれていません。本製品のメンテナンス、使用方法のすべてを網羅するものではありません。安全かつ適切な使用は、ユーザーの判断に委ねられています。安全情報はユーザーへのサービスとして含まれています。ユーザーが講じるその他すべての安全対策は、適用される規制および現地プロトコルの範囲内で考慮される必要があります。この製品を実際に使用する前に、適切な使用に関するトレーニングを実施してください。

本書は、参照のために保管しておいてください。別のユーザーへ製品を譲渡する場合、本書も一緒に譲渡してください。追加に必要な場合は、カスタマーリレーションズにご連絡ください。

## 知的財産

このマニュアルで開示されている情報は、ファーノオーストラリアの財産です。ファーノオーストラリアはすべての知的財産を有します。これらの権利が他者に明示的に付与されている場合、またはベンダーの専有部品を除き、開示されている物品に対する財産権、専有権、製造権、複製使用権、および販売使用権をファーノオーストラリアは有します。

## 保証

ファーノが販売する製品には保証が付いています。保証の完全な利用規約、責任の制限および免責事項については、ファーノオーストラリアに電子メール ([info.au@ferno.com](mailto:info.au@ferno.com)) でお問い合わせください。

## 有害事象の通知

このデバイスの使用に関連して有害事象または重大なインシデントが発生した場合、エンドユーザー/オペレーターは、その事象をファーノオーストラリアに電話 +61 7 3881 4999 または電子メール [info.au@ferno.com](mailto:info.au@ferno.com) で報告してください。欧州連合で発生した場合は、ファーノの正規 EU 代表者およびエンドユーザーが拠点を置く加盟国の管轄当局に報告してください。



EC	REP	<b>Ferno S.r.l</b> via B. Zallone, n. 26, 40066 Pieve di Cento, Bologna, Italy +39 051 6860028
----	-----	---

UK	REP	<b>Ferno (UK) Limited</b> Stubs Beck Lane, Cleckheaton West Yorkshire BD19 4T, United Kingdom +44 1274 851999
----	-----	--

	<b>Ferno Australia</b> 11 Johnstone Road, Brendale, Queensland 4500, Australia Tel: +61 7 3881 4999 / email: <a href="mailto:info.au@ferno.com">info.au@ferno.com</a>
--	---

## 目次

カスタマーサービス.....	2
<b>1 - 安全性に関する情報.....</b>	<b>4</b>
» 1.1 警告.....	4
» 1.2 注意.....	4
» 1.3 血液感染.....	4
» 1.4 安全ラベル.....	4
» 1.5 担架の寿命.....	4
» 1.6 用語集.....	4
<b>2 - オペレーターのスキルとトレーニング.....</b>	<b>5</b>
» 2.1 スキル.....	5
» 2.2 トレーニング.....	5
<b>3 - XTRIC8 レスキュー スレッドについて.....</b>	<b>6</b>
» 3.1 説明.....	6
» 3.2 一般仕様.....	6
» 3.3 コンポーネント.....	6-7
<b>4 - XTRIC8 の機能.....</b>	<b>8</b>
» 4.1 使用開始前に.....	8
» 4.2 固定.....	8
<b>5 - XTRIC8 を使用するための準備.....</b>	<b>9</b>
» 5.1 使用上のガイドライン.....	9
» 5.2 申請の準備.....	9
<b>6 - XTRIC8 の使用.....</b>	<b>10</b>
» 6.1 要救助者の固定.....	10
» 6.2 救助方法.....	11-14
<b>7 - 保管とメンテナンス.....</b>	<b>14</b>
» 7.1 保管.....	14
» 7.2 メンテナンススケジュール.....	15
» 7.3 消毒と洗浄.....	15
» 7.4 点検.....	16
<b>8 - スペアパーツ.....</b>	<b>17</b>
トレーニング記録.....	18
メンテナンス記録.....	18

1.1 警告

警告は、回避しないと負傷または死亡につながる可能性がある潜在的な事項を示します。

本書には次の警告が表示されます。

 **警告**

訓練を受けていないオペレーターが使用すると怪我をする可能性があります。訓練を受けたオペレーターのみが操作してください。

不適切に使用すると、怪我をする可能性があります。リフティングブライドルは、本書に記載されている目的にのみ使用してください。

不適切な操作は怪我をする可能性があります。本書の説明に従ってのみ操作してください。

要救助者が固定されていないか、不適切に固定されていると、怪我をする可能性があります。XTRIC8 の統合型固定システムと、救助状況に適した他の固定システムを使用して、常に要救助者を XTRIC8 に固定してください。

改造すると、怪我や損傷を引き起こす可能性があります。Ferno によってのみ製造および販売されます。

不適切なメンテナンスは、怪我や破損の原因となります。保守は、本書に従って行ってください。

不適切な部品や整備を行うと怪我をする可能性があります。Ferno が承認した部品とサービスのみを使用してください。

要救助者が怪我をする可能性がありますので、常に側に付けてください。

不適切な部品を取り付けると、怪我をする可能性があります。Ferno が承認した品目のみを使用してください。

1.2 注意

注意では、危険に関する情報は示されません。注意事項に従わない場合、製品または物的損害が発生する可能性があります。

**注意**

ロープ、ハーネス、その他の個人用保護具 (PPE) を使用した救助には特別なスキルが必要であり、潜在的なリスクを伴います。専門的な訓練を受けていない場合、救助を試みてはなりません。

すべてのストラップがしっかりと固定され、張られていることを確認してください。過度に張らないでください。ストラップと要救助者の身体の間になくとも **掌の厚みのスペース** を確保してください。

1.3 ヒント

ヒントでは、製品をより簡単に使用するための推奨事項が提供されます。

**Tip**

1.3 血液感染

使用時に HIV-1 や肝炎などの血液感染にさらされるリスクを軽減するには、本書の消毒と洗浄の指示に従ってください。

1.4 安全性ラベル

ラベルには、本書の重要な情報が記載されています。ラベルの指示を読み、従ってください。摩耗または損傷したラベルはすぐに交換してください。

製品情報ラベルは、ロールアップ収納ストラップに固定され、製品と製造日に関する重要な情報が含まれています。識別タグのサンプルを以下に示します。



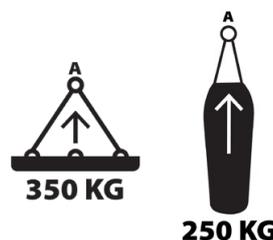
製品情報ラベルは、XTRIC8リフティングブライドルに固定されています。製品と製造日に関する重要な情報が含まれています。識別タグのサンプルを以下に示します。



1.6 用語集

識別ラベルに記載されている記号

	製品コード
	シリアルナンバー
	ロット番号
	製造日
	有効期限/廃止日
	ご使用前に取扱説明書をお読みください
	メーカー



XTRIC8 を水平方向または垂直方向に吊り上げた場合の耐荷重

## 2.1 スキル

XTRIC8を使用するオペレーターには以下が必要です。

- 要救助者の対応手順に関する実用的な知識。  
要救助者を支援する能力。
- 本書に記載されている手順を完全に理解していること。
- 所属組織が定めたプロトコルとガイドラインに従ってください。
- 



### 警告

訓練を受けていないオペレーターが使用すると怪我をする可能性があります。訓練を受けた方がのみが操作してください。

## 2.2 トレーニング

受講者は、次のことを行ってください。

- トレーナーによって設計または承認された研修プログラムに従ってください。
- 本書をお読みください。追加が必要な場合は、Ferno カスタマー サービスにお問い合わせください。
- 実際の活動で使用する前に、XTRIC8 で練習してください。
- XTRIC8 についての理解度が評価され、テストされます。  
トレーニング情報を記録します。サンプルフォームは 18 ページに記載されています。
-

### 3.1 説明

水平吊り上げ 耐荷重      垂直吊り上げ 耐荷重

XTRIC8は、高角度、狭所、水平および垂直吊りの救助活動で要救助者を安全に固定および搬送するために設計されたスレッドです。

XTRIC8は脊椎固定装置として設計されたものではありませんが、Ferno KED Pro、KED、Ferno XT、Ferno スクープ ストレッチャー、ハーフスパイン ボード、頸椎カラーなどの脊椎を安定させて固定する装置と互換性があります。



### 3.2 一般仕様

#### XTRIC8 レスキュースレ

製品コード	FWE XTRIC8
構成	1 x レスキュースレッド、内側の要救助者用ハーネス、外側レストレイント、外側ストラップおよびハンドルが装備されています。 1 x 垂直吊り上げ用 マリオンラビド 1 x 色分けされた4点リフティングブライドル 1xバックパックストラップ付き収納バッグ
長さ	2540mm
幅 - 最長	914mm
重量 - 本体	7kg
重量 - 本体とバッグ	8.5kg
耐荷重	350kg - 水平 / 250kg - 垂直

#### XTRIC8 リフティングブラ

重量 - リフティングブライドル	0.9kg
耐荷重 - リフティングブライドル	500kg
ブライドルカラビナ	VYO N-2853G - アルミニウム合金 (SAE 7075) トリプルアクションカラビナ
ブライドルカラビナの寸法	124mm×80mm / ゲート開口部 : 22mm
ブライドルカラビナの評価	最小引張強さ:23kN / 最小ゲート強度 : 16kN
ブライドルカラビナの規格	ANSI Z359.12-2019; CSA Z259.12-16; EN 362:2004

- Ferno およびコンポーネントのメーカーは、予告なく仕様を変更する権利を留保します。
- 一般的な仕様は、最も近い整数に四捨五入されます。メートル法換算は、英語の測定値を四捨五入する前に計算されます。詳細については、Ferno カスタマー サービスまたは最寄りの代理店にお問い合わせください。

### 3.3 XTRIC8コンポーネント

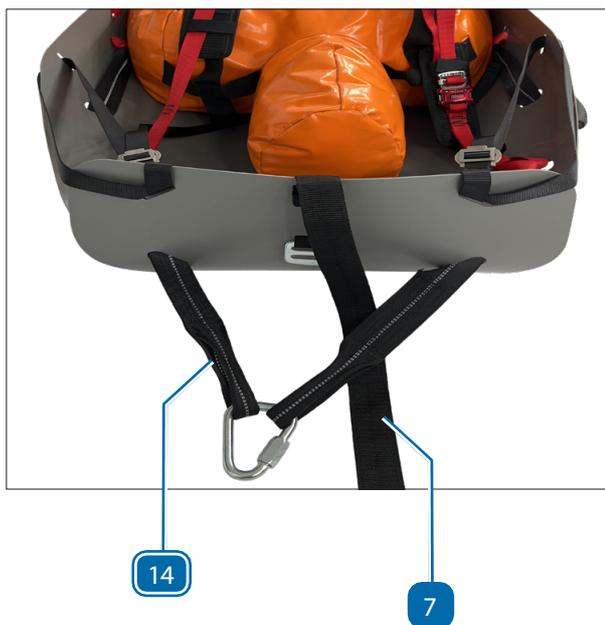
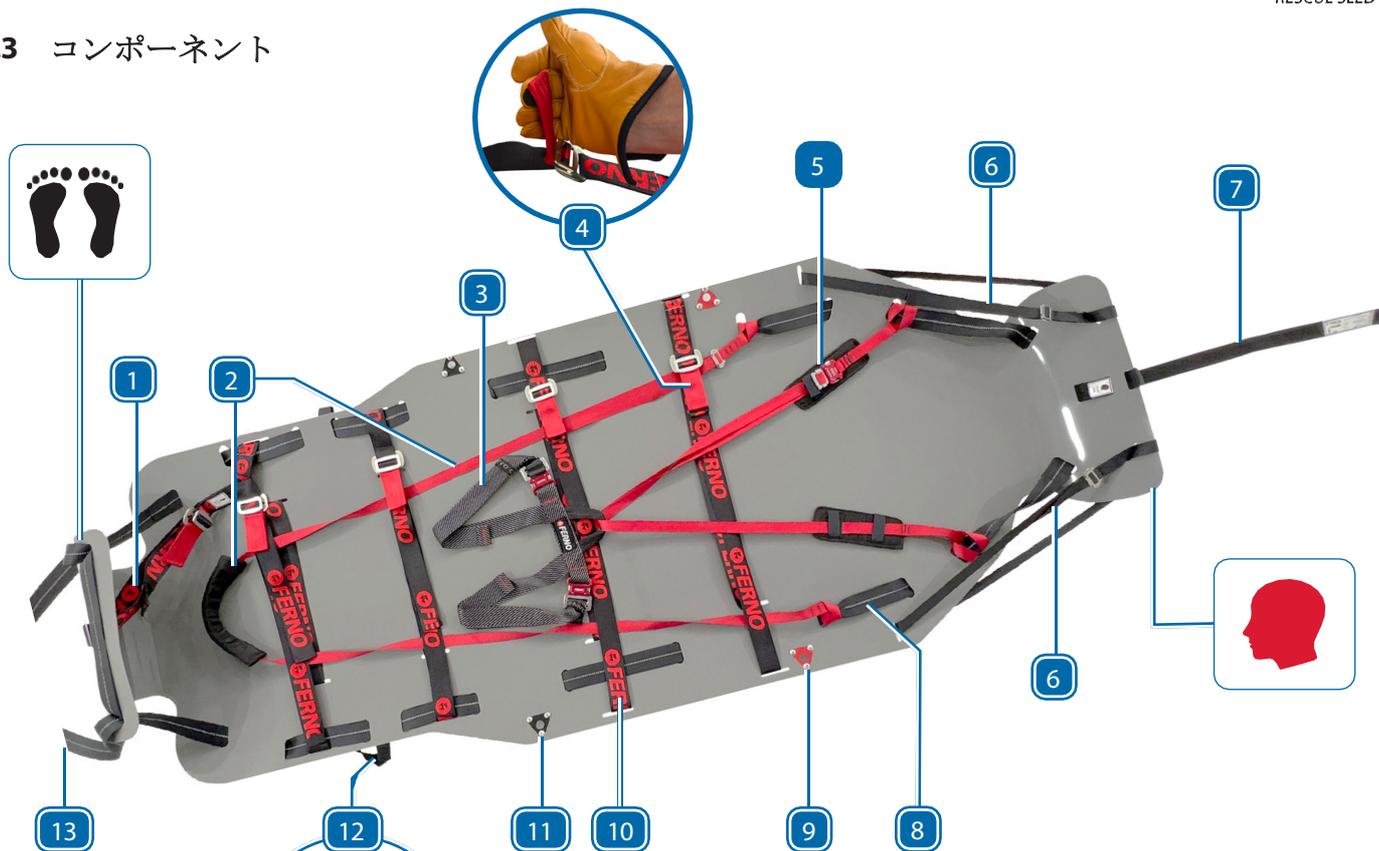


XTRIC8 バッグ



XTRIC8 リフティングブラ

3.3 コンポーネント



XTRIC8 コンポーネント

#	説明	数量
1	外部足保持ストラップ	1
2	内部フットスタンドハーネ	1
3	内部患者用ハーネス - レッグストラ	2
4	バックル用クイックリリース	4
5	内部患者ハーネス - 調節可能なショルダーストラップ	2
6	形状保持ストラップ	2
7	ロールアップ収納ス	1
8	外周拘束	1
9	水平リフト - ブライドルアタッチメント、ヘッド	2
10	外部拘束ストラップ	4
11	水平リフト - ブライドルアタッチメント、フットエ	2
12	キャリー/リフティン	6
13	XTRIC8 をそり動かしたり、タグラインを取り付けたりするためのフットエンドドラッグハンドル	1
14	マイヨン付き垂直リフティングストラップ	1

### 4.1 使用開始前に

1. XTRIC8 をバッグから取り出し、シリアル番号およびその他の関連情報を記録します (図 1)。
2. XTRIC8 を検査し、損傷がないことを確認します。
3. XTRIC8 の内面から保護フィルムを剥がします (図 2)。
4. 毎回の使用前と使用後にバックル、素材、ウェビング コンポーネントを検査します。損傷の兆候がある場合は、使用せず、直ちに使用を中止してください。



### 4.2 XTRIC8 レストレイント

XTRIC8 には、以下を含む統合型レストレイントシステムが装備されています。

1. 内側のハーネスで要救助者を固定します。
2. 4本の調節可能な外側のストラップで要救助者を固定し、巻き付けると XTRIC8 の形状が維持されます。

これらのレストレイントは、ハイアングルの状況で要救助者を固定するために使用される機器を補助します。

XTRIC8 レストレイントは、要救助者を固定する場合にのみ使用し、付属のハンドルは、持ち上げる場合にのみ使用してください。

#### 外側のレストレイント

XTRIC8 レストレイントシステムは、現場で容易に固定できるように、スロット付きバックルシステムを使用しています (図 3)。

#### 2本のストラップを一緒に固定するには:

1. オスのバックルをスロット付きのメスのバックルの下側に通します (図 4)。
2. バックルを通すときは、ウェビングの端をわずかに引っ張って、バックルの 2つの半分がしっかりと固定されていることを確認します (図 5)。

ウェビングの端を引っ張って、強く固定してください。

赤いクイックリリース タブをバックルに向かって引っ張り、緩むまで引っ張り続けます (図 6)。



**形状保持ストラップ(図2)**

A

形状保持ストラップを締めると、XTRIC8 の頭側が要救助者の頭の周りに保護バリアを形成します。

ストラップのバックルを固定する:

1. オスのバックルをメスのバックルに合わせて通します(図7)。
2. 結合されたバックルが互いに平らになっていることを確認します(図8)。

ウェビングの端を引っ張って、保持ストラップを締めます。



7



8

## 5 - 使用前の準備

### 5.1 使用上のガイドライン

- XTRIC8 を使用するには、少なくとも 2 人の訓練を受けたオペレーターが必要です。ほとんどの状況で、オペレーターは追加の支援を必要とします。XTRIC8 を使用する場合は、標準的な要救助者の対応手順に従ってください。
- 常に要救助者の側に付いてください。所属組織のプロトコルに従って、固定システムを常に使用してください。  
ハイアングルレスキューで使用する場合、適切な技術、機器、手順に従ってください。

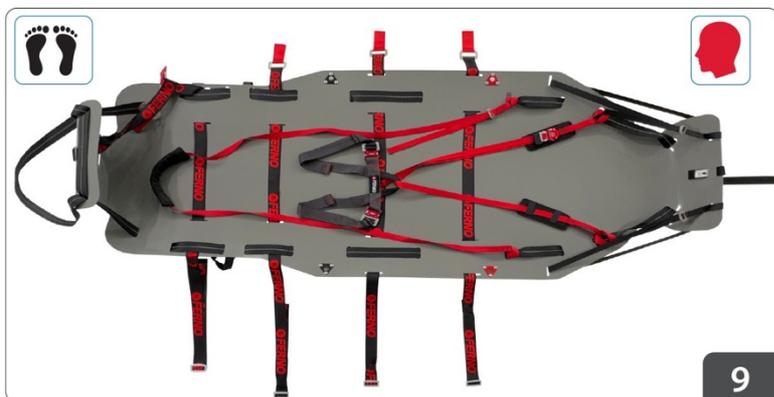
### 警告

要救助者から目を離すと、怪我をする可能性があります。常に要救助者の側に付いてください。

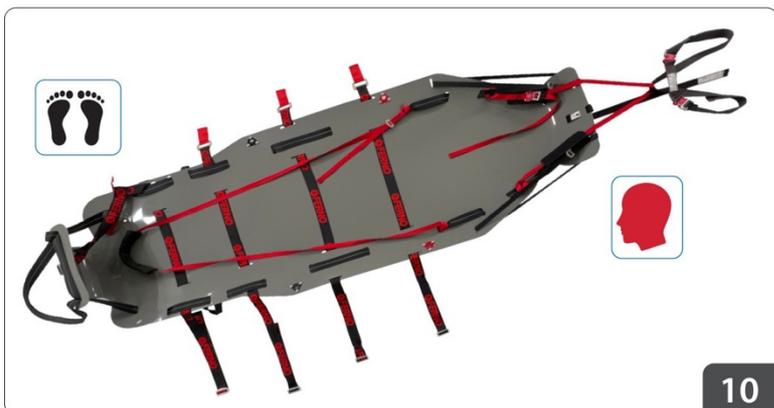
要救助者が固定されていない。あるいは、不適切に固定されていると、怪我をする可能性があります。統合型固定システムと状況に適した固定システムを使用して、要救助者を XTRIC8 に固定してください。

### 5.2 要救助者を受け入れる準備をする

1. XTRIC8 を袋から取り出し、広げます。
2. 外部ストラップのバックルを外し、各ストラップを XTRIC8 の外側に置きます(図9)。
3. バックルを外さずに、内側の要救助用ハーネスを XTRIC8 の頭側の上に置きます(図10)。



9



10

## 6.1 配置と要救助者の安全

### 要救助者の配置

XTRIC8 の重心は、頭側と足側のブライドルを取り付ける箇所にあります。  
最適な位置決めを行うには、要救助者の腰を頭側に最も近い 2 つのレストレイントの間に配置します (図 11)。

**Tip**

注: XTRIC8は、脊椎固定装置ではありません。

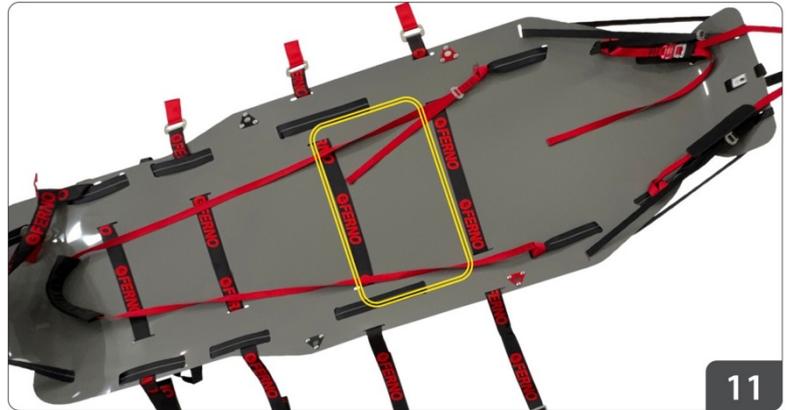
脊髄損傷の疑いのある要救助者、または脊髄損傷を患っている場合は、XTRIC8 に固定する前に適切に固定する必要があります。

XTRIC8 は、次の脊椎固定具と互換性があります。

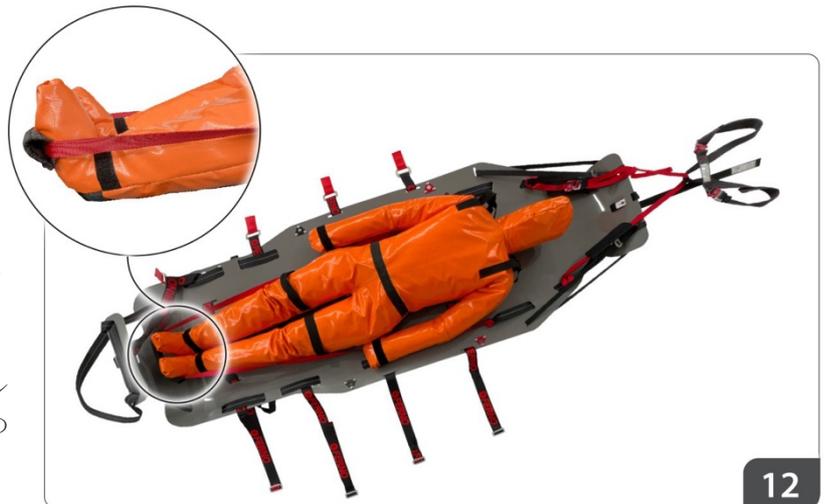
- ファーノ KED プロ
- ファーノ KED
- ファーノ XT
- ファーノ EXL スクープストレッチャー
- ファーノ 65 スクープストレッチャー
- セイバー 265 スクープ ストレッチャー
- ハーフスパインボード

### 1. 要救助者を XTRIC8 の上に配置します:

- 最適な重心を確認しながら、準備した XTRIC8 の上に要救助者を寝かせます。要救助者は、開いた外部ストラップの上に横になります (図 12)。
- 内側のフット スタンド ハーネスを要救助者の足の土踏まずの下に配置し、フット スタンド ハーネスに弛みがないようにストラップの長さを調整します (図 12 挿入図)。



11



12

### 2. 内側の要救助者用ハーネスを使用してXTRIC8 に固定します。

- 内側のハーネスを要救助者の上に置き、レッグストラップを腰の上に置きます。バックルを外し、必要に応じて長さを調整します。
- 右脚のレッグストラップを要救助者の脚の間から右腰の周りを通して、ベルトの右側のバックルに接続します。
- 左脚も同様の操作を繰り返します。快適にフィットするようにストラップを調整して締めます (図 13)。



13



垂直吊りの準備をする場合、要救助者が垂直になるまでショルダーストラップを緩めたままにしておきます。

### 3. XTRIC8 を要救助者に装着します。

- ウエストの外側のストラップの両端を取り出し、接続します。外側のストラップを徐々に締め、XTRIC8 の側面が要救助者を包み込むようになります。
- 4つの外側のストラップがすべて調整され、しっかりと固定されるまで、外部ストラップの接続を続けます。
- フットストラップを調整して要救助者の足の保護バリアを形成し、形状を維持します (図14)。
- 形状保持ストラップを締めて、頭の周りに保護シールドを形成します。  
(図15A)。
- 要救助者は、吊り上げの準備ができています (図15)



#### Tip 外側のストラップの取り外し

外側のストラップを取り外すときは、スロット付きメスバックルと赤いクイックアジャストメントタブがある側から操作すると効率的です。

## 6.2 救出の方法

救助の方法は4つあります:

1. キャリーハンドル方式
2. 水平吊り上げ方式 (ハイアングルレスキュー)
3. 垂直吊り上げ方式 (ハイアングルレスキュー)
4. ドラッグ方式

### 1. キャリーハンドル方式

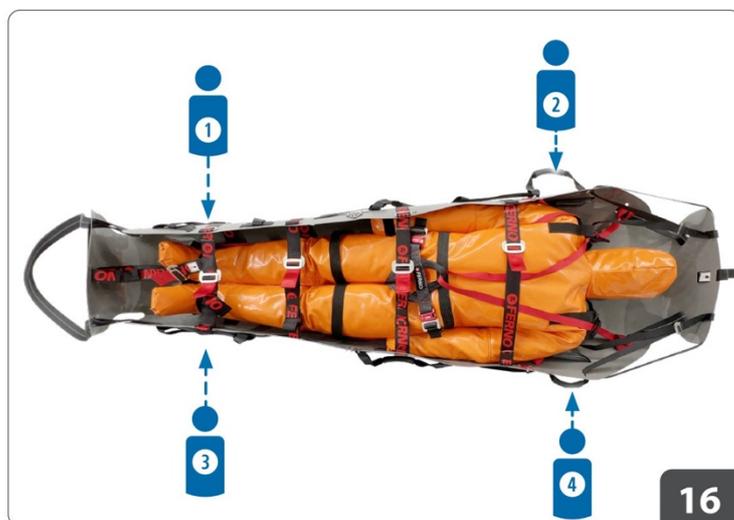
XTRIC8 には、握りやすいキャリーハンドルが6つ付いています。両側に2人ずつ、少なくとも4人で運ぶ必要があります (図16)。

1. 各オペレーターはキャリーハンドルを握ります。
2. タイミングを合わせて、XTRIC8 を持ち上げ、目的の場所に進みます。

追加で補助人員が必要な場合は、偶数の人数を XTRIC8 の周りに配置し、荷重が均等に分散されるようにしてください。オペレーターは XTRIC8 の制御を維持し、介助者に指示を与えてください。

### 知らせ

人や物をマニュアルで持ち上げたりする場合は、所属組織のガイドラインを参照してください。



## 2. 水平吊り上げ方式

必要な機器 - XTRIC8 リフティングブライドル(図17)。

色分けされたリフティングブライドルは、最適な吊り上げの角度を提供できるように設定されています。

1. 赤のブロードレッグを赤のリフティングアタッチメントポイントに取り付けます(アタッチメントポイントごとに1つのカラビナ)(図 18)。カラビナゲートが XTRIC8 の内側を向いていることを確認します(図 19、挿入画像)
2. 救助方法に沿って、リフティングブライドルの O リングに取り付けます。水平吊り上げのアタッチメントポイントです。

要救助者を固定した XTRIC8 は、水平吊り上げの準備ができています。

### 知らせ

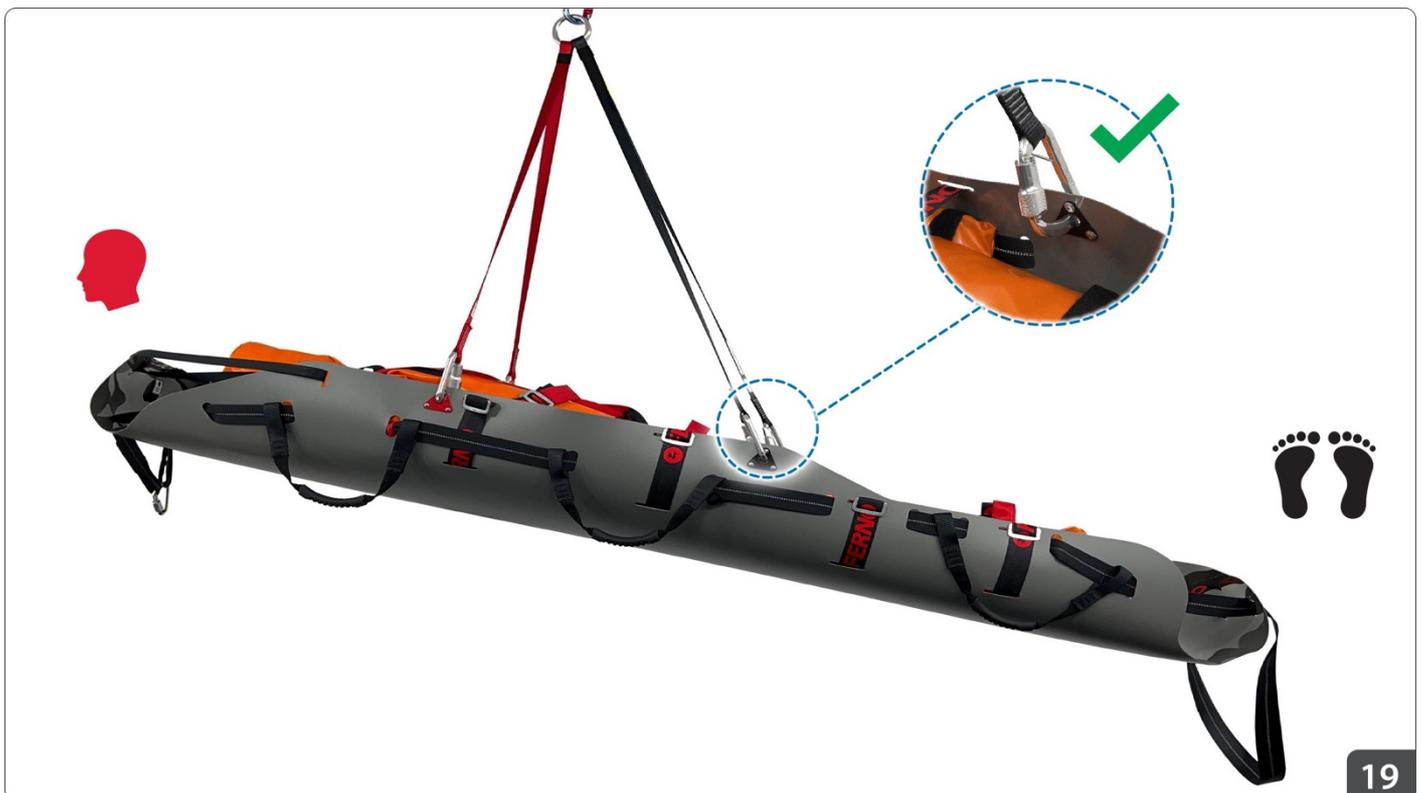
XTRIC8 と組み合わせて使用するハイアングルまたはロープアクセス機器の耐荷重が XTRIC8 と同等以上であることを確認してください。



17



18



19

### 3. 垂直吊り上げ方式

この操作には少なくとも 2 人が必要です。

XTRIC8 には、バーティカルリフティングストラップとマイヨンがあらかじめ装備されています。

1. 要救助者の配置と固定 (9 ~ 10 ページ) で詳しく説明されているように、要救助者が内側のハーネスに固定され、XTRIC8 がしっかりと巻き付けられていることを確認します。

**!** 要救助者が垂直の姿勢になるまでショルダーストラップを緩めたままにしておいてください。

2. タグラインを足の端に結び、ハンドルを引いて、垂直方向の昇降時の動きを制御します。
3. 昇降ロープまたはホイストをマイヨンに接続します。
4. XTRIC8 の両側に 1 人のオペレーターを配置して、要救助者を水平から垂直に持ち上げるのを手動で支援します (図 20)。
5. 要救助者を垂直姿勢で支え続けながら、内側のハーネスのショルダーストラップの弛みをなくします (締めすぎないようにしてください) (図 21)。

固定した要救助者を搭載した XTRIC8 は、垂直吊り上げの準備ができています(図22)。

### 知らせ

高角度の救助状況でそれを使用する要員は、関連する技術を理解し、各救助状況に最適な機器と手順を選択する責任があります。



20



22



21

#### 4. XTRIC8 を引く

要救助者の頭を保護するために、足先から引いてください。

##### 足側から引く

足の端にあるドラッグハンドルを使用します (図 23)。

##### 頭側から引く

頭側のマイロンを使用します。頭側から引きずりながら要救助者の頭を保護するため、操作中は特別な注意を払う必要があります。

#### 知らせ

地面の状況によっては摩擦が起こります  
引いている途中に発生する衝撃により、XTRIC8 が磨  
耗する可能性があります。



23

## 7 - 保管、点検、メンテナンス

### 7.1 保管

1. XTRIC8 を地面に置き、スレッドとレストレイントが露出するように広げます。レストレイントのバックルが接合され、張力がかかっていないことを確認してください。
2. 足側から頭側に向かってしっかりと回転させて巻きます (図 24)。
3. 巻き上げたら、フックと収納ストラップで固定します。ストラップをバックルに通し、ストラップを締めて固定します。
4. 丸めたXTRIC8をキャリーバッグに入れ、バッグの開口部を数回折り、開閉バックルを締めて固定します。



24

XTRIC8 は、直射日光、ほこり、湿気、腐食性の環境を避け、バッグに入れて保管してください。

## 7.2 メンテナンススケジュール

XTRIC8 には定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンス スケジュールを設定し、それに従ってください。本書では サンプルフォームが提供されています。以下のは最小限のメン テナンスを示しており、必要に応じて変更する必要があります。

使用の前後に検査するだけでなく、6 か月ごと検査し、検査 マニュアルに記録してください。

メンテナンス時に使用する薬剤は、製造元の指示に従い、製 品安全データシートをお読みください。

手順	周波数
消毒	それぞれの用途
クリーニング	必要に応じて
検査	毎回の使用前と使用後
定期検査	6か月ごと

## 7.3 消毒 および クリーニング

1. XTRIC8 とウェビングは使用後に拭いてきれいにするこ とができます。XTRIC8 と拘束具は、ファーノロープ & ハーネス ウォッシュなどの中性洗剤を使用した温水で洗 うこともできます。汚れが落ちたら、きれいな水ですす いてください。クリーニングの際には過度の力を加えたり、研磨剤を使用したりしないでください。漂白剤、フ ェノール類、ヨウ化物、石油を含む洗剤/消毒剤は使用し ないでください。
2. 洗浄したら拭いて乾かすことができます。ウェビングス トラップは、暖かく換気の良い場所に吊るして自然乾燥 させる必要があります。直射日光や熱源を避けてくださ い。乾燥機で乾燥させないでください。
3. 完全に乾燥したら、ユニット全体を検査し、すべてのコ ンポーネントが動作し、良好な状態にあることを確認し ます。
4. XTRIC8 を丸めて収納ストラップで固定し、バッグに詰 めます。保管方法については、「保管」を参照してくださ い。



### 警告

不適切なメンテナンスは怪我を引き起こす可能性がありま す。XTRIC8 の保守は、このマニュアルの説明に従ってのみ 行ってください。

### 知らせ

漂白剤、フェノール類、ヨウ化物、石油を含む消毒剤やクリ ーナーは、XTRIC8 のシェルやウェビングに損傷を与える可 能性があります。これらの化学物質を含まない製品のみを使用 して消毒と洗浄を行ってください。

### Tip

#### レストレイントの取り外し/再取り付け

洗浄のために拘束具を取り外す前に、レストレイン トを取り付けた状態で XTRIC8 の写真を撮ります。写 真は、キャリーハンドルと拘束具をどこに再取り 付けする必要があるかについての簡単な参考として 役立ちます。

## 7.4 検査中 XTRIC8

### 毎回の使用後

以下のガイドを使用して、使用後に XTRIC8 および XTRIC8 リフティングブライドルを検査してください。

- すべてのコンポーネントが存在すること (不明な場合は、7 ページを参照してください)
- すべてのウェビングは切れ目やほつれがなく、良好な状態であること
- ウェビングの縫製は糸のほつれや切れがなく良好な状態であること
- 調整バックルは機能しており、挿入と取り外しがスムーズに行われていること
- シェルは亀裂や歪みがなく無傷であること。下側に引きずりによる過度の摩耗の兆候がないこと

リフティングブライドルのカラビナと O リング、および垂直リフティングマイヨンは良好な状態にあり、摩耗、破損、歪みがないこと

検査で損傷または過度の摩耗が見つかった場合は、使用しないでください。材料やコンポーネントを修理または交換しないでください。

### 定期点検

XTRIC8 に関連する有害事象が発生した後、または製品の状態に疑問がある場合は、少なくとも 6 か月に 1 回、XTRIC8 を担当者が検査する必要があります。検査後、「可」とマークされた項目を監視します。

	良好	可	不可
<b>識別ラベル</b>			
製品識別ラベルは XTRIC8 にあり、判読できますか?	○	○	○
製品識別ラベルは XTRIC8 リフティングブライドルにあり、判読できますか?	○	○	○
製品の寿命 (製造日より 10 年) を超えていない。	○		○
<b>ウェビング - XTRIC8 プラス XTRIC8 リフティングブライドル</b>			
ウェビングに切れ目や破れはありますか?	○	○	○
特にハードウェアとの接触部分に摩耗による損傷はありますか?	○	○	○
過度のストレッチの兆候はありますか?	○	○	○
熱、腐食剤、または溶剤による目に見える損傷はありますか?	○	○	○
腐食、カビ、紫外線による劣化はありませんか?	○	○	○
<b>縫製 - XTRIC8 PLUS XTRIC8 リフティングブライドル</b>			
糸が切れたり、切れたり、磨耗したりしていませんか?	○	○	○
熱、腐食、溶剤、またはカビとの接触によるねじ山の損傷または劣化の兆候はありますか?	○	○	○
<b>バックル - XTRIC8</b>			
内部ハーネスのクイックコネクタブックルは固着することなくスムーズに接続および取り外しができますか?	○	○	○
スロット付きバックルはすべてありますか?	○	○	○
スロット付きバックルはしっかりと接続され、しっかりと固定されていますか?	○	○	○
亀裂やギザギザのエッジはありますか?	○	○	○
<b>XTRIC8 シェル</b>			
シェルの完全性に影響を与えるような深いえぐれや摩耗はありますか?	○	○	○
熱、腐食、または溶剤による目に見える損傷はありますか?	○	○	○
2 つのヘッドエンドと 2 つのフットエンドのアタッチメントポイントプレートが XTRIC8 シェルにしっかりと取り付けられていますか?	○	○	○
アタッチメントポイントプレートを固定しているすべての留め具は存在し、良好な状態ですか?	○	○	○

## 8.1 スペアパーツ

部 #	説明	数量
FWE-XTRIC8 BAG	XTRIC8 Bag	1
FWE-2063	XTRIC8 Lifting Bridle	1
BRH-BPH	Ferno Basket Patient Harness	1
FWE-XTRIC8 FS	XTRIC8 Foot Strap Harness	1
FWE-XTRIC8 PH	XTRIC8 Rubber Handle Assembly	1
FWE-XTRIC8 4R	XTRIC8 External Restraints (set of 4)	1
FWE-XTRIC8 EPRM	XTRIC8 External Perimeter Restraint & Maillon	1





